

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】井原市美星町星田

【時代】不明

【指定年月日】平成17年3月16日

【所有】星尾神社

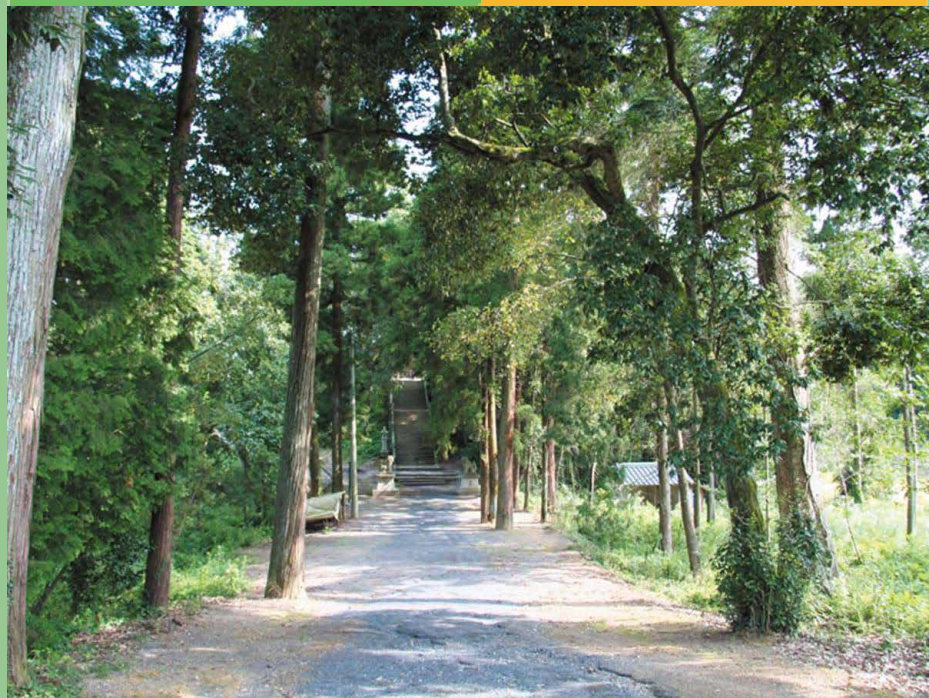
【見学】可

ほしおじんじやのしゃそう

星尾神社の社叢

かんけい しまち
関係する市町

いほらし
井原市



てんねんきねんぶつ

この天然記念物について

星尾神社の周囲に生育する森で、目通り周囲2.2m前後のモミを中心にし、社殿北側には、30.0mを超えるモミが生育し、一部にクロマツ、アカマツの大径木のほか、^{あこうぼくそう}亜高木層にはコシアブラ、モミ、アラカシなどが生育しています。自然状態を保っている植生の一つの形態を典型的に残している社叢林といえます。星尾神社は、正中元（1324）年にこの地を治めていた^{ごうぞく}豪族^{せのおへいじえもん}妹尾平治右衛門が創建したとされ、地域の^{ちんじゆ}鎮守と敬われています。総面積は1.14 haです。